

自治会町内会向け



つながりを深めるデジタル活用

デジタルは人と人をつなぐ新しい道具



講師 株式会社 LOCAL JAPAN
代表取締役 頼 栄明

講師自己紹介

株式会社 LOCAL JAPAN

代表取締役 らい 頼 よしあき 栄明

地域情報サイト運営やデジタルツール導入支援を行う
(株)LOCAL JAPANを設立。

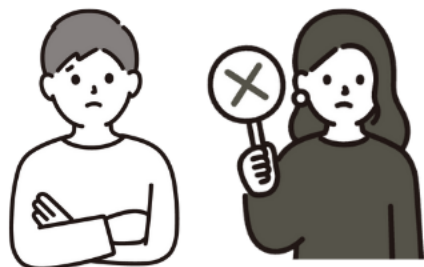
地域に特化したWebの専門家として、自治会・町内会のICT
活用やホームページ制作、SNS運用をサポートしている。

2025年 横浜市と連携協定を締結



こんなお悩みありませんか？

役員になる人がいない



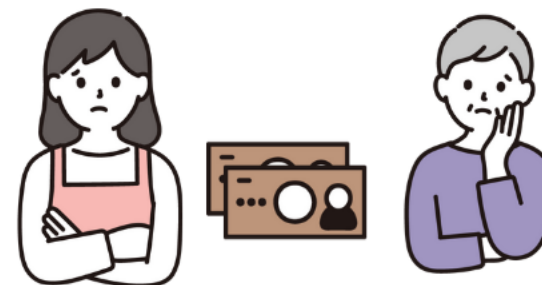
情報が届かない・共有できない



加入数が減っている



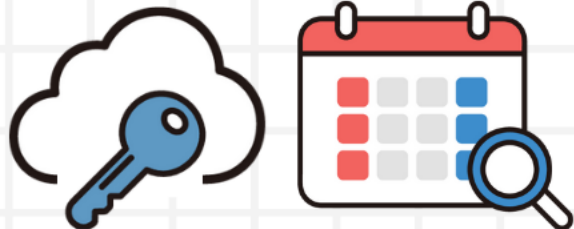
集金が大変・現金の管理が大変



なぜデジタルが必要なのか？

高齢化・作業疲れ

担い手不足
負担が大きい



印刷・配布・ゴミ

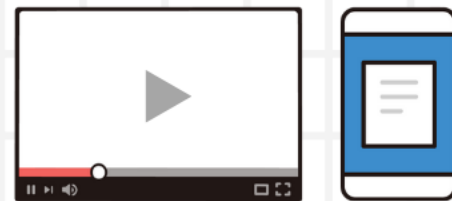
紙や現金に
頼るのが難しく
なってきた



キャッシュレス時代

情報はネットで収集

若い世代は
デジタルが
当たり前



自治会町内会で使えるデジタルツール

情報発信



- LINE
- ホームページ
- 専用アプリ

など

集金



- キャッシュレス決済
- オンライン会費集金

など

スケジュール共有



- カレンダーアプリ
- 電子掲示板

など

会館の鍵管理



- デジタルキー
- 予約システム

など

デジタルツール活用の良いところ

時間が有効活用できる

作業の人手が少なくて済む

書類の管理場所が小さくて済む



便利さ
効率化

活動が“見える化”される

若い世代が参加しやすい



豊かさ
広がり
変化

注意しなければならないこともあります！



**不安になって当たり前
＼ 用心深くなって正解 /**

でも

対策やツールを知れば安心！

一步踏み出すならこれを知っておきましょう

- 不要に個人情報を**収集しない**
- 情報**発信前**に一旦内容を確認
- **パスワード**の使い回し、**公共のWIFI**に注意
- **価値あるサービス**が有料なのは当然
- **無料ツール（体験版）**から始める
- あれもこれも始めず**必要なところから**始める
- **専門家**に意見を聞いてみる

その情報
集める / 発信する
必要ある？

何がしたいのか
目的に合わせて
ツールを選ぶ

実際に導入した地域では…



導入者の声をデジ活アドバイザーが集めてきました！

横浜市内の自治会町内会の
会長・担当者からいただいた生の声です



ホームページの掲示と同じ資料で自治会内の会議ができるようになった



会館の利用が増えて交流が活発になった



役員の意識に変化があった。（デジタルの有用性を理解）



自治会活動の内容自体を見直すきっかけになった



非会員の人たちとの接点がつくれた



ネットを見ることのできない方がまだまだ多い



ホームページだけでは基本的に一方向の情報発信なので限界がある



運用の後継者がいない



個人情報や肖像権の問題で、発信が気軽に出来なくなった

デジタル活用で対面の機会が減って関係の希薄化を心配されている方がいるのですが



デジタル活用が関係を希薄化させているとは思いません
顔を合わせる機会は集金だけではないと思っています
他の活動でも充分それに見合う事ができるのではないのでしょうか

デジタル活用に後ろ向きの方はいらっしゃいますか？



何を行う時でも反対意見はつきものです。高齢役員は変化を嫌う方が多いです
しかし恐れていると何も変わらない自治会町内会になってしまいます
反対意見の方に対し、「責任もって行う」という誠意を見せることが大切です

デジタル活用で楽になりましたか？始めて良かったなと思うところありますか？



作業が楽になるのはもちろんですが、それ以上に町内会に興味を持ってくれる人が増えました
また若い世代にもPRできています
『新しい事にチャレンジしてくれて、町内会の未来を考えてくれて嬉しい』と言われました

まとめ

便利さ

効率化

豊かさ

広がり
変化

なぜ必要？

活動を続けるため

どんなツール？

情報発信・集金・予定共有・鍵管理

どう始める？

メリットとデメリットを知り目的を決める

デジタルは“人をつなぐ新しい道具”

自治会町内会向け

つながりを深めるデジタル活用

デジタルは人と人をつなぐ新しい道具



ご清聴ありがとうございました

せっかくなので事業者ブースで
話を聞いてみましょう！